

# 一般社団法人日本地域看護学会

## 2022 年度社員総会

- I. 日 時 2022 年 6 月 26 日（日）13：30～14：30
- II. 会場形態 Zoom によるオンライン会議  
配信元：株式会社ワールドプランニング会議室  
（東京都新宿区神楽坂 4 丁目 1 番 1 号）
- III. プログラム
1. 開会の辞
  2. 議事録署名人の決定
  3. 議題の承認
    1. 2021 年度事業報告について
      - 1) 全体報告
      - 2) 委員会報告
        - (1) 編集委員会
        - (2) 研究活動推進委員会
        - (3) 広報委員会
        - (4) 教育委員会
        - (5) 国際交流推進委員会
        - (6) 表彰論文選考委員会
        - (7) 災害支援のあり方検討委員会
        - (8) 活動推進エンジンチーム
        - (9) 次世代研究活動推進チーム
    2. 2021 年度収支決算について
    3. 2021 年度監査報告について
    4. 2022・2023 年度事業計画について
    5. 2022 年度収支予算について
    6. 名誉会員の推薦について
    7. その他
  4. 報告事項
    1. 第 27 回学術集会長について
    5. 第 25 回学術集会および第 26 回学術集会について
    6. 意見交換
    7. 閉会の辞
- IV. 資 料
- |        |                     |    |
|--------|---------------------|----|
| 資料 1-1 | 2021 年度事業報告書（全体報告）  | 1  |
| 資料 1-2 | 2021 年度事業報告書（委員会報告） | 5  |
| 資料 2-1 | 2021 年度貸借対照表        | 23 |
| 資料 2-2 | 2021 年度収支計算書        | 24 |
| 資料 2-3 | 2021 年度財産目録         | 26 |
| 資料 3   | 2021 年度監査報告書        | 27 |
| 資料 4-1 | 2022 年度事業計画書        | 29 |
| 資料 4-2 | 2023 年度事業計画書        | 30 |
| 資料 5   | 2022 年度収支予算書        | 31 |
| 資料 6   | 名誉会員候補者一覧           | 33 |
| 資料 7   | 役員・社員名簿             | 34 |

# 一般社団法人日本地域看護学会 2021 年度事業報告書

## I. 会員数

### 1. ブロック別会員数

2022 年 5 月 31 日現在

| ブロック   | 都道府県                          | 会員数   |
|--------|-------------------------------|-------|
| 北海道・東北 | 北海道、青森、秋田、宮城、山形、福島、岩手         | 122   |
| 関東     | 群馬、茨城、栃木、千葉、埼玉、神奈川            | 320   |
| 東京都    | 東京都                           | 154   |
| 甲信越・中部 | 静岡、愛知、岐阜、三重、福井、富山、石川、長野、山梨、新潟 | 289   |
| 関西     | 滋賀、大阪、京都、奈良、兵庫、和歌山            | 247   |
| 中国・四国  | 岡山、広島、島根、鳥取、山口、高知、香川、徳島、愛媛    | 143   |
| 九州・沖縄  | 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、鹿児島、宮崎、沖縄      | 120   |
| 海外     | フランス                          | 1     |
|        | 会員数合計                         | 1,396 |

### 2. 経年会員数推移

総会報告時

| 年度   | 会員数   | 対前年度比 | 年度   | 会員数   | 対前年度比 |
|------|-------|-------|------|-------|-------|
| 1998 | 420   | —     | 2011 | 1,286 | 94%   |
| 1999 | 569   | 135%  | 2012 | 1,298 | 100%  |
| 2000 | 695   | 122%  | 2013 | 1,312 | 101%  |
| 2001 | 794   | 114%  | 2014 | 1,339 | 102%  |
| 2002 | 918   | 115%  | 2015 | 1,417 | 105%  |
| 2003 | 935   | 101%  | 2016 | 1,404 | 99%   |
| 2004 | 976   | 104%  | 2017 | 1,441 | 102%  |
| 2005 | 1,068 | 109%  | 2018 | 1,438 | 99%   |
| 2006 | 1,128 | 105%  | 2019 | 1,424 | 99%   |
| 2007 | 1,172 | 103%  | 2020 | 1,413 | 99%   |
| 2008 | 1,241 | 105%  | 2021 | 1,405 | 99%   |
| 2009 | 1,265 | 101%  | 2022 | 1,396 | 99%   |
| 2010 | 1,360 | 107%  |      |       |       |

## II. 事業報告

### 1. 理事会を 4 回、新役員候補者による懇談会を 1 回開催した。

| 会議名                 | 開催日・方法                            | 主な議題  |
|---------------------|-----------------------------------|---|
| 2021 年度<br>第 1 回理事会 | 2021 年 5 月 1 日<br>Zoom によるオンライン会議 | 2020 年度事業報告、決算・監査報告、2021 年度事業計画、予算、2021 年度社員総会開催方法等 |
| 新役員懇談会              | 2021 年 5 月 1 日<br>Zoom によるオンライン会議 | 新理事長、新副理事長、推薦理事、総務当理事、会計担当理事、各委員会委員長の検討等            |

|                  |                               |   |
|------------------|-------------------------------|---|
| 2021年度<br>第2回理事会 | 2021年7月24日<br>Zoomによるオンライン会議  | 2021年度理事会事業計画、委員会事業計画、新規ワーキンググループ、メール審議内規(案)の検討等                              |
| 2021年度<br>第3回理事会 | 2021年10月31日<br>Zoomによるオンライン会議 | 第26回学術集会の開催方法、日本地域看護学会臨時理事会における審議内規(案)、学会誌投稿規程改定(案)についての検討                    |
| 2021年度<br>第4回理事会 | 2022年2月6日<br>Zoomによるオンライン会議   | 第25回学術集会理事会セミナー、2022年度社員総会、2021年度事業報告、中間決算報告、2022,2023年度事業計画、予算、2021年度表彰論文選出等 |

※その他、監査および委員会における会議（詳細は各委員会の報告書を参照）を適宜開催した。

2. メール審議を2回実施した。

| 会議名          | 審議結果報告日        | 議題   | 結果                                  |
|--------------|----------------|--|-------------------------------------|
| 第1回<br>メール審議 | 2021年<br>8月20日 | 次世代研究推進活動チームの活動計画について                          | 理事15名中賛成15名、<br>監事2名異議なし<br>全員一致で承認 |
| 第2回<br>メール審議 | 2022年<br>1月13日 | 国際交流推進委員会の小西かおる委員長より、第7回WANS学術集会の招待講演への候補者について | 理事15名中賛成15名、<br>監事2名異議なし<br>全員一致で承認 |

3. 社員総会を1回開催した。

| 会議名            | 開催日・方法   | 主な議題  |
|----------------|--|---|
| 2021年度<br>社員総会 | 2021年6月27日<br>書面開催ののち、Zoomによるオンライン会議にて意見交換会を実施 | 2020年度事業報告、決算・監査報告、2021年度事業計画、予算、役員の選任、名誉会員の承認等 |

4. 会員報告会の開催を第24回学術集会会期中に予定していたが、第24巻第2号掲載の「学会だより」にて書面により報告した。

5. 第24回学術集会について、2021年8月27日～9月26日：オンデマンド配信、2021年9月11～12日：ライブ配信にて開催した。参加者は659人（前期登録：会員253人／非会員146人、後期登録：会員81人／非会員152人、学生：27人）であり、一般演題79題、ワークショップ9題の登録があった。会期中のHPへのアクセス数は98,825件であり、そのうちライブ配信時のアクセス数は、9月11日15,922件、9月12日10,001件であった。動画再生数は、オンデマンド配信4,600回、ライブ配信656回であった。

テーマ：共生社会における新たな地域看護の挑戦

学術集会長：岸 恵美子（東邦大学大学院看護学研究所）

6. 理事会企画セミナーを、第24回学術集会にてオンデマンド配信により実施した。

テーマ：「Society5.0」の社会における人びとのライフスタイルの展望と新たな課題  
—ポスト・ウイズコロナ社会への転換を視野に入れて—

講師：乙部 由子氏

（元名古屋工業大学特任准教授／特定非営利活動法人ウイメンズボイス理事）

7. 日本地域看護学会誌第24巻第1号（2021年4月20日発行）、第2号（2021年8月20日発行）、第3号（2021年12月20日）を電子体で発行した。

8. 地域看護学に関する研究活動を推進し、委員会セミナーをオンライン開催にて実施した。  
ライブ配信：2022年3月5日  
オンデマンド配信：2022年3月6～21日  
タイトル：地域看護に活かせるGISを用いた研究の理論と実際  
—脆弱地域を今すぐ可視化！ 地域の強み弱みを実践に活かす—  
テーマ・講師：①GISを用いた研究の理論  
堀池 諒氏（高知県健康政策部須崎福祉保健所主査／保健師）  
②GISを用いた地域看護研究の実例  
中井 寿雄氏（金沢医科大学看護学部准教授）  
参加者：122名（会員：105名、大学院生：5名、非会員：12名）
9. 広報活動の一環として、地域包括支援センター等への広報・調査を実施した。
10. 地域看護学に関する教育のあり方について検討した。  
『看護展望』2021年5月号特集「地域看護学の卒業時到達目標と内容・方法から考える『地域・在宅看護論』の新たな授業づくり」に、検討した地域看護学の教育内容・方法について寄稿した。
11. 地域看護学に関する国際的な交流を行い、News Letter No.21 を発行した。
12. 日本地域看護学会表彰制度を運営し、規程に基づき表彰論文の決定と名誉会員候補者の検討を行った。
  - 1) 優秀論文（1編）  
タイトル：認知症高齢者の生活支援に向けた地域包括支援センター保健師のコーディネーション尺度の開発（原著）  
著者：岡野明美・上野昌江・大川聡子  
巻号：第23巻第1号
  - 2) 奨励論文（2編）  
タイトル：市町村保健師の職業的アイデンティティの形成プロセスと影響要因；複線径路等至性モデリング（TEM）による4類型からみた特徴（原著）  
著者：小路浩子  
巻号：第23巻第2号  
  
タイトル：アクションリサーチによる地区組織基盤の世代間交流プログラムの開発と評価（研究報告）  
著者：有本 梓・伊藤絵梨子・白谷佳恵・田高悦子  
巻号：第23巻第2号
  - 3) 名誉会員候補者：早川和生氏  
2004年度学術集会長であり、理事を2期6年間務められた。
13. 災害に対する支援のあり方を検討した。
14. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め、活動に参画した。  
「第3回（3期）全国公衆衛生関連学協会連絡協議会 学術集会」で、本学会から災害支援のあり方検討委員会の春山早苗委員長が、「新型コロナウイルス感染症対策において日本地域看護学会が果たす役割 —学会員による保健所等支援の取組みから—」の演題発表を行った。

15. 新型コロナウイルス関連情報特設サイトを、定期的に更新し、継続して情報発信に努めた。
16. 活動推進エンジンチームならびに次世代研究活動推進チームを立ち上げ、魅力ある学会づくりや本学会の特徴の明確化と共有、潜在している会員のニーズの発掘と学会活動への連動、学術団体としての役割等、本学会が強化すべき課題に対応することを目的とし、1年間の期限で活動した。2021年度は、報告書の原案を作成し、2022年度中に会員に周知するとともに、次年度以降の活動の方向性を示した。

## 編集委員会

### 1. 委員構成

|      |    |     |               |
|------|----|-----|---------------|
| 委員長  | 永田 | 智子  | (慶應義塾大学)      |
| 副委員長 | 蔭山 | 正子  | (大阪大学高等共創研究院) |
| 委員   | 有本 | 梓   | (横浜市立大学大学院)   |
|      | 和泉 | 比佐子 | (神戸大学大学院)     |
|      | 井手 | 知恵子 | (大分大学)        |
|      | 上野 | まり  | (自治医科大学)      |
|      | 尾崎 | 章子  | (東北大学大学院)     |
|      | 表  | 志津子 | (金沢大学)        |
|      | 亀井 | 智子  | (聖路加国際大学大学院)  |
|      | 田口 | 理恵  | (共立女子大学)      |
|      | 都筑 | 千景  | (大阪公立大学大学院)   |
|      | 西嶋 | 真理子 | (愛媛大学大学院)     |

### 2. 2021 年度活動報告

#### 1) 委員会開催

##### (1) 第 1 回委員会

日時：2021 年 6 月 5 日（土）16:00～18:30

形態：Zoom によるオンライン会議

出席者：北山、永田、有本、和泉、井手、上野、尾崎、亀井、都筑、西嶋、吉本

内容：理事会報告

継続中の論文の審査状況について

新規投稿論文の編集委員・査読委員について

第 24 巻第 2 号の掲載予定論文および依頼原稿等について

優秀査読者賞について

委員会活動計画について

拡大編集委員会の開催について

英文論文の査読について

等

##### (2) 第 2 回委員会

日時：2021 年 10 月 2 日（土）10:30～12:30

形態：Zoom によるオンライン会議

出席者：永田、蔭山、有本、和泉、井手、上野、尾崎、表、亀井、田口、都筑、西嶋

内容：拡大編集委員会報告

継続中の論文の審査状況について

新規投稿論文の編集委員・査読委員について

第 24 巻第 3 号の掲載予定論文および依頼原稿等について

巻頭言・編集後記の執筆者について

編集委員会企画連載について

英文投稿論文文献リストについて

等

##### (3) 第 3 回委員会

日時：2022 年 1 月 29 日（土）13:00～15:30

形態：Zoom によるオンライン会議

出席者：永田、蔭山、有本、和泉、井手、上野、尾崎、表、亀井、田口、都筑、西嶋

内容：理事会報告

継続中の論文の審査状況について  
新規投稿論文の編集委員・査読委員について  
第 25 巻第 1 号の掲載予定論文および依頼原稿等について  
優秀査読者賞の経過について  
学会誌の電子化に関する調査について  
投稿規程・投稿原稿作成チェックリスト改定について 等

2) 2021 年度拡大編集委員会

形態：2021 年 9 月に査読者に資料を送付し、メールにて意見を求めた。なお、優秀査読者 4 名には、賞状と副賞を事務局から郵送した。

内容：第 9 期編集委員会活動方針および 2021 年度活動計画について  
投稿規程について  
投稿論文作成チェックリストについて  
投稿から掲載までの流れについて  
投稿論文の動向について  
第 2 回優秀査読者賞の報告

優秀査読者：蔭山正子氏、北岡英子氏、高橋和子氏、田口理恵氏

3) 地域看護学会誌の発行

- (1) 第 24 巻第 1 号 発行日：2021 年 4 月 20 日  
掲載論文：原著 1、研究報告 3、編集委員会企画連載 2、  
委員会報告 1、News from JACHN No.20
- (2) 第 24 巻第 2 号 発行日：2021 年 8 月 20 日  
掲載論文：原著 1、研究報告 3、資料 4、編集委員会企画連載 1、  
学会だより
- (3) 第 24 巻第 3 号 発行日：2021 年 12 月 20 日  
掲載論文：研究報告 3、資料 1、第 24 回学術集会報告、  
編集委員会企画連載 1、委員会報告 1

3. 2022 年度活動計画（案）

- 1) 編集委員会を開催する（年 3 回）。
- 2) 拡大編集委員会を開催する。
- 3) 学会誌を 3 号発行し（第 25 巻第 1～3 号）、J-STAGE で公開する。
- 4) オンライン投稿査読システムを運用し、評価する。
- 5) 「優秀査読者賞」の選考および授賞を行う。
- 6) 「研究論文投稿に関する不正行為防止のためのガイドライン（案）」について検討する。
- 7) その他本学会の目的に必要な事業の推進を図る。

## 研究活動推進委員会

### 1. 委員構成

|      |    |     |            |
|------|----|-----|------------|
| 委員長  | 大森 | 純子  | (東北大学大学院)  |
| 副委員長 | 和泉 | 京子  | (武庫川女子大学)  |
| 委員   | 北岡 | 英子  | (湘南鎌倉医療大学) |
|      | 平野 | 美千代 | (北海道大学大学院) |
|      | 松永 | 篤志  | (東北大学大学院)  |
|      | 持田 | 恵理  | (大泉町役場)    |
|      | 山下 | 留理子 | (徳島大学大学院)  |

### 2. 2021年度活動報告

#### 1) 研究活動推進委員会会議の開催 (3回)

##### (1) 第1回

日時：2021年8月17日(日) 18:00～19:10

場所：Zoomによるオンライン会議

参加者：大森純子、和泉京子、北岡英子、平野美千代、持田恵理、山下留理子、  
国井由生子(株式会社ユピア)、小嶋亜紀子(株式会社ユピア)、松永篤志  
(敬称略)

議事：①今年度の活動計画、予算について

②前回の研究セミナーの振り返り

③今年度のセミナー開催の検討

④その他

##### (2) 第2回

日時：2021年10月4日(金) 18:00～19:30

場所：Zoomによるオンライン会議

参加者：大森純子、和泉京子、北岡英子、平野美千代、持田恵理、山下留理子、  
国井由生子(株式会社ユピア)、松永篤志(敬称略)

議事：①今年度の研究セミナーの検討

②役割分担

③その他

##### (3) 第3回

日時：2022年2月19日(土) 13:00～(60～90分程度)

場所：Zoomによるオンライン会議

参加者：中井寿雄、堀池 諒、大森純子、和泉京子、北岡英子、平野美千代、山下留理子、  
国井由生子(株式会社ユピア)、松永篤志(敬称略)

議事：①研究セミナーの講師とスタッフの顔合わせ

②準備状況の確認・課題の検討

#### 2) 研究セミナーの開催

日程：2022年3月5日(土) 13:30～15:30

オンデマンド配信 2022年3月6日(日)～21日(月)

タイトル：地域看護に活かせるGISを用いた研究の理論と実際

—脆弱地域を今すぐ可視化！ 地域の強み弱みを実践に活かす—



内容・講師（敬称略）：

➤ GISを用いた研究の理論

講師：堀池 諒（高知県健康政策部須崎福祉保健所 主査（保健師））

➤ GISを用いた地域看護研究の実例

講師：中井寿雄（金沢医科大学看護学部 准教授）

申込受付期間：2022年1月11日（火）～2月13日（日）

参加者：122名（会員：105名、大学院生：5名、非会員：12名）

3) その他、会員の研究活動を推進するための活動

- ・研究セミナーのアーカイブの作成を検討中。

3. 2022年度活動計画（案）

- 1) 日本地域看護学会研究活動推進委員会主催の研究セミナーを企画する委員会の開催
- 2) 研究セミナー（オンライン）の開催（1回）
- 3) 研究セミナーのアーカイブの作成
- 4) その他、会員の研究活動を推進するための活動の検討

## 広報委員会

### 1. 委員構成

|      |                    |
|------|--------------------|
| 委員長  | 田村 須賀子 (富山大学)      |
| 副委員長 | 安田 貴恵子 (長野県看護大学)   |
| 委員   | 酒井 久美子 (長野県看護大学)   |
|      | 陶山 公子 (富山大学)       |
|      | 新村 順子 (東京都医学総合研究所) |
|      | 長谷川 美香 (福井大学)      |
|      | 平澤 則子 (長岡崇徳大学)     |

### 2. 2021 年度活動報告

#### 1) 委員会開催

- (1) 第 1 回委員会 (2021 年 10 月 18 日 (月) 18:00~19:30 Zoom による Web 会議)

内 容 : ①前期の総括と今期の活動計画について、②今年度の関連団体・機関への広報活動について、③理事会報告 : 1) 賛助会員とバナー広告掲載に係る申し合わせに関する決定事項について、2) 本会 HP のサーバーについて、3) 魅力ある学会づくりに向けて、現状の課題や今後の取り組みなどについて

- (2) 第 2 回委員会 (2021 年 11 月 1~15 日 メール会議)

内 容 : ①理事会報告 : 魅力ある学会づくりに向けて、現状の課題や今後の取り組みなどについて、②地域包括支援センターへの広報活動について

- (3) 第 3 回委員会 (3 月 11~18 日 メール会議)

内 容 : 地域包括支援センターを対象としたアンケート結果の集約と第 25 回学術集会に向けた広報活動の評価、今後に向けた企画検討

#### 2) ホームページの内容の確認と充実

掲載内容の確認を定期的 (月 1 回) に行った。

#### 3) 地域包括支援センターに対する調査・広報活動

第 25 回学術集会に向けて : 地域包括支援センター (富山県 61 か所、新潟県 122 か所、石川県 85 か所、福井県 51 か所、長野県 125 か所、岐阜県 82 か所、愛知県 208 か所、群馬県 91 か所、滋賀県 57 か所、京都府 128 か所) 計 1, 010 か所 (2021.12.4 現在) を対象に、学会入会のご案内カード (裏面に「地域看護学の再定義 (2019)」) と学術集会の案内チラシとともに質問紙を郵送し、情報保護シール貼付はがきにて回答を得た。なお依頼文には「学術集会演題受付領域リスト」を載せた。調査期間は 2022 年 1 月 20 日~2 月末日、回収数 66 (回収率 6.8%、35 件宛先不明)、有効回答数 65。

地域包括支援センターでは、介護における在宅移行、看取り・経管栄養や胃瘻増設における本人や家族への説明、高齢者の精神疾患 (うつ、不安)、独居高齢者の孤独、家族との希薄等について関心がある。学術集会に参加するときの動機には、学術集会のテーマ・プログラム内容に関心があること、地域包括ケアのヒントや刺激・地域包括ケア推進・調整の最新情報を得るため、住まい・職場から近い会場で開催されることの回答が多かった。また地域包括支援センター (委託) で働く保健師についての内容、地域包括支援センター保健師の専門性についての研究・実践報告を求める意見があった。学術集会参加では、高額な参加費という費用的な負担が大きいとのことで、オンライン開催等の希望も記載されていた。

### 3. 2022 年度活動計画（案）

#### 1) ホームページの内容の確認と充実

定期的に広報委員が交代で HP を確認し、早急な更新と内容の検討を行う。  
必要事項は委員会で検討し理事会に諮り進める。

#### 2) 広報を通じた会員サービスの拡充と会員獲得戦略

委員会で課題整理と対応策を検討し理事会に提案する。

#### 3) 地域で実践する看護職に対する広報活動

（例）地域包括支援センター、診療所、訪問看護ステーション、学校、事業所 etc.

#### 4) その他必要な事項

## 教育委員会

### 1. 委員構成

|      |                               |
|------|-------------------------------|
| 委員長  | 岸 恵美子 (東邦大学大学院)               |
| 副委員長 | 大木 幸子 (杏林大学)                  |
| 委員   | 秋山 正子 (株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション) |
|      | 石橋 みゆき (千葉大学大学院)              |
|      | 大宮 朋子 (筑波大学)                  |
|      | 草野 恵美子 (大阪医科大学)               |
|      | 斉藤 恵美子 (東京都立大学大学院)            |
|      | 佐藤 紀子 (千葉県立保健医療大学)            |
|      | 諏訪部 高江 (訪問看護ステーションけせら)        |
|      | 藤原 和美 (東邦大学)                  |

### 2. 2021 年度活動報告

#### 1) 委員会の実施

##### (1) 第 1 回教育進委員会

日 時：2021 年 9 月 24 日 (金) 18:00～20:00

方 法：Zoom によるオンライン会議

参加者：石橋みゆき、大木 幸子、岸 恵美子、草野恵美子、佐藤 紀子、  
諏訪部高江、藤原 和美 (敬称略)

議 事：①委員自己紹介

②理事会・総会報告の情報共有

③今年度事業計画と役割分担

④地域看護学の教育内容・方法の検討

##### (2) 第 2 回教育委員会

日 時：2021 年 11 月 2 日 (火) 18:30～20:30

方 法：Zoom によるオンライン会議

参加者：石橋みゆき、大木 幸子、大宮 朋子、岸 恵美子、草野恵美子、  
斉藤恵美子、佐藤 紀子、藤原 和美 (敬称略)

議 事：①理事会報告の情報共有

②地域看護学の教育内容・方法の検討：教育内容と方法の例についての検討

③今後のスケジュールおよび方向性についての検討

##### (3) 第 3 回教育委員会

日 時：2021 年 12 月 3 日 (金) 18:30～20:30

方 法：Zoom によるオンライン会議

参加者：秋山 正子、石橋みゆき、大木 幸子、大宮 朋子、岸 恵美子、  
斉藤恵美子、佐藤 紀子、諏訪部高江、藤原 和美 (敬称略)

議 事：①理事会報告の情報共有

②話題提供：全国保健師教育機関協議会で検討した看護師教育における「地域看護」教育について

③「地域看護の教育内容と方法」についての検討

④今後の話題提供者の検討

##### (4) 第 4 回教育委員会

日 時：2022 年 1 月 7 日 (金) 18:30～20:30

方 法：Zoom によるオンライン会議

- 参加者：秋山 正子、石橋みゆき、大木 幸子、大宮 朋子、岸 恵美子、  
草野恵美子、斉藤恵美子、佐藤 紀子、諏訪部高江、藤原 和美（敬称略）
- 議 事：①話題提供：在宅看護の立場から「地域・在宅看護論」の教育内容について  
②「地域看護学」と「在宅看護論」の違いについての意見交換  
③現行の看護師の国家試験出題基準における「在宅看護論」から「地域・在宅看護論」への移行に向けての意見交換  
④「地域看護の教育内容と方法」についての検討

(5) 第5回教育委員会

日 時：2022年2月4日（金）18:30～20:00

方 法：Zoomによるオンライン会議

- 議 事：①話題提供：基礎看護の立場から「地域・在宅看護論」の教育内容について  
②地域看護学会の再定義を踏まえ、育てたいナース像についての意見交換  
③②に基づき、地域看護の教育内容と方法を作成した報告書をもとに再度点検し、不足や修正が必要な点を明確にする。

2) 活動成果

『看護展望』2021年5月号特集「地域看護学の卒業時到達目標と内容・方法から考える『地域・在宅看護論』の新たな授業づくり」に、検討した地域看護学の教育内容・方法について寄稿した。

3. 2022年度活動計画（案）

- 1) 2021年3月に学会として示した「地域看護学の卒業時到達目標と内容・方法」を評価する。
- 2) 地域看護学の再定義と照らして、地域看護学会として目指す看護師像を視野に入れ、地域看護学について一般の人にも理解できるよう図（ポンチ絵）等で見える化する。
- 3) 他学会等とのコラボ企画により、「地域看護学の卒業時到達目標と内容・方法」について情報共有と周知をはかる。

## 国際交流推進委員会

### 1. 委員構成

|     |                  |
|-----|------------------|
| 委員長 | 小西 かおる (大阪大学大学院) |
| 委員  | 岡本 玲子 (大阪大学大学院)  |
|     | 成瀬 昂 (東京大学大学院)   |
|     | 藤本 優子 (神戸市看護大学)  |
|     | 山本 なつ紀 (慶應義塾大学)  |
|     | 吉岡 京子 (東京大学大学院)  |

### 2. 2021 年度活動報告

#### 1) 英文ニュースレターの発行

- ・英文ニュースレターNo.21 (学会誌第 25 巻第 1 号掲載) の発行に向けて、掲載内容および執筆者を確定し、原稿の執筆依頼を行った。
- ・内容は、地域看護における ICT 活用の現状と課題、論文表彰者のメッセージ、第 6 回 GNP HN 国際学会参加報告、今後の関連国際学会の情報などを掲載する。

#### 2) 必要に応じて、国際的な研究交流や学術交流に有用な情報の提供

- ・第 7 回 ICCHNR 国際学会について、第 24 回学術集会、メールマガジンを通じて会員内外に広報した。
- ・WANS 理事会 (2021 年 12 月 8 日) に参加した。
- ・第 7 回 WANS 国際学会について、メールマガジンを通じて会員に広報した。
- ・第 7 回 WANS 国際学会のシンポジストの推薦を行い、理事会のメール審議で了解を得て、学会事務局から WANS 事務局に推薦者の連絡を行った。

#### 3) 第 1 回委員会の開催

日 時 : 2021 年 10 月 15 日 (金) 11:00~12:00

場 所 : オンライン会議

参加者 : 小西委員長、岡本委員、藤本委員、成瀬委員、山本委員、(吉岡委員)

内 容 : 英文ニュースレター企画ほか

### 3. 2022 年度活動計画 (案)

- 1) 英文ニュースレターNo.22 を発行する。
- 2) 必要に応じて、国際的な研究交流や学術交流に有用な情報を提供する。
- 3) 委員会を年 1 回、開催する。

## 表彰論文選考委員会

### 1. 委員構成

|      |    |     |               |
|------|----|-----|---------------|
| 委員長  | 北山 | 三津子 | (岐阜県立看護大学)    |
| 副委員長 | 永田 | 智子  | (慶應義塾大学)      |
| 委員   | 上野 | 昌江  | (関西医科大学)      |
|      | 蔭山 | 正子  | (大阪大学高等共創研究院) |
|      | 金子 | 仁子  | (東京情報大学)      |

### 2. 2021 年度活動報告

#### 1) 活動目的

- (1) 日本地域看護学会誌に掲載された優れた論文について、規程に沿って、「優秀論文賞」および「奨励論文賞」（以下、表彰論文）を選考する。
- (2) 日本地域看護学会に多大な寄与をした者の中から、規程に沿って、日本地域看護学会名誉会員（以下、名誉会員）候補者を選考する。
- (3) 日本地域看護学会「表彰論文」ならびに「名誉会員」にかかわる、その他必要な事業等を推進する。

#### 2) 活動報告

- (1) 委員会の開催  
委員会を 1 回開催した（2022 年 1 月 23 日）。
- (2) 2021 年度表彰論文について  
規程に基づき、学会誌第 23 巻第 1～3 号に掲載された論文を対象に、理事・代議員による投票結果を踏まえ、独創性、新規性、学術的発展性、実践的有用性の観点から審議の上、表彰論文の選考を行った。
- (3) 2021 年度名誉会員候補者について  
規程に基づき、名誉会員候補者について検討を行った。
- (4) その他、本事業の充実に向けて  
学会 HP 上に表彰論文選考理由および受賞者の声を掲載した。また、学術集会（誌上）において受賞論文の掲載を行った。

### 3. 2022 年度活動計画（案）

- 1) 学会誌第 24 巻に掲載された優れた論文について、規程に沿って、表彰論文を選考する。
- 2) 日本地域看護学会に多大な寄与をした者の中から、規程に沿って、名誉会員候補者を検討する。
- 3) 日本地域看護学会「表彰論文」ならびに「名誉会員」にかかわる必要な事業等を推進する。

## 災害支援のあり方検討委員会

### 1. 委員構成

|      |    |     |             |
|------|----|-----|-------------|
| 委員長  | 春山 | 早苗  | (自治医科大学)    |
| 副委員長 | 安齋 | 由貴子 | (宮城大学)      |
| 委員   | 石田 | 千絵  | (日本赤十字看護大学) |
|      | 岩村 | 龍子  | (和歌山県立医科大学) |
|      | 奥田 | 博子  | (国立保健医療科学院) |
|      | 小寺 | さやか | (神戸大学大学院)   |
|      | 島田 | 裕子  | (自治医科大学)    |

### 2. 2021 年度活動報告

#### 1) 活動目的

本学会としての災害支援のあり方を検討する。

具体的には、

- ・災害対策に関わる情報や被災地の保健師活動についての情報を収集し、それに基づいて地域看護の実践・教育・研究のあり方を考える機会をつくっていく。
- ・日本看護系学会協議会 災害における看護の学会連携ネットワーク等を通して、他学会と連携していく。

#### 2) 活動報告

##### (1) 委員会

###### < 第 1 回委員会 >

日 時：2021 年 9 月 6 日（月）17:00～18:30

開催方法：Zoom

出席者：春山、安齋、石田、奥田、小寺、島田

内 容：・健康危機管理の教育方法に関する調査の結果報告

- ・第 24 回学術集会ワークショップの打合せ
- ・本学会の健康危機管理支援システムに関わる本委員会の今後の活動に関する意見交換
- ・その他

###### < 第 2 回委員会 >

日 時：2022 年 3 月 28 日（月）10:00～11:30

開催方法：Zoom

出席者：春山、安齋、石田、岩村、奥田、小寺、島田

内 容：・健康危機管理の教育方法に関する調査の結果報告

- ・第 25 回学術集会におけるワークショップ申込みの検討
- ・本学会健康危機管理支援システムの理事会における検討結果について
- ・その他

##### (2) 健康危機管理の教育方法に関する調査

目 的：指定規則の改正、COVID-19 の実習等への影響及び COVID-19 のまん延という健康危機の経験を踏まえ、保健師教育課程における健康危機管理に関わる教育の実態と課題を明らかにする

対 象：本学会会員のうち、保健師教育課程に携わっている会員

調査方法：Web 調査

時 期：2021 年 5 月 19 日～6 月 30 日



- 結果の公表：回答数 43。本学会第 24 回学術集会ワークショップで公表
- (3) 第 24 回学術集会におけるワークショップの開催
- テ ー マ：保健師教育における健康危機管理の教育方法  
～指定規則の改正及びコロナ禍の経験を踏まえて～
- 日 時：2021 年 9 月 11 日（土）18:00～19:00
- 目 的：これからの保健師教育における健康危機管理の教育に資すること
- 内 容：・保健師教育における健康危機管理に関する教育の現状及び指定規則の改正に伴う同教育の検討の動向  
・健康危機管理に関する教育実践例  
・健康危機管理教育に関する提案 ～COVID-19 対策における保健所支援の経験から～  
・健康危機管理に関する教育実践例の情報交換
- 参 加 者：37 名
- そ の 他：学会誌投稿に向けて、健康危機管理の教育方法に関する調査結果を含めた本ワークショップの内容を委員会報告としてまとめた。

### 3. COVID-19 対策における本学会の取組の発信

「第 3 回（3 期）全国公衆衛生関連学協会連絡協議会 学術集会」において、委員長が「新型コロナウイルス感染症対策において日本地域看護学会が果たす役割 ―学会員による保健所等支援の取組みから―」の演題で発表し、本学会の取組を発信した。

### 4. 2022 年度活動計画（案）

- 1) 委員会の開催（年 2 回）
- 2) 第 25 回学術集会におけるワークショップの開催
- 3) 健康危機に関わる情報や地域看護に従事する看護職の活動についての情報収集

## 活動推進エンジンチーム

### 1. 委員構成

|        |                              |
|--------|------------------------------|
| 委員長    | 荒木田美香子（川崎市立看護短期大学）           |
| 委員     | 秋山 正子（株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション） |
|        | 石橋 みゆき（千葉大学大学院）              |
|        | 大木 幸子（杏林大学）                  |
|        | 岸 恵美子（東邦大学大学院）               |
|        | 北山 三津子（岐阜県立看護大学）             |
|        | 田村 須賀子（富山大学）                 |
| オブザーバー | 宮崎 美砂子（千葉大学大学院）              |

### 2. 2021 年度活動報告

#### ・ワーキングの趣旨

地域看護学会としての特徴を活かした魅力ある学会づくりに向けて、この 2 年間の重点活動及び中長期展望と戦略を作成する。

#### ・ワーキングの方向性

「1. 現会員を逃さない、2. 新規会員の獲得、3. 当事者や現場の方に魅力ある企画」の検討

#### ・ワーキングの開催状況

- 第 1 回 8 月 10 日 ブレインストーミング
- 第 2 回 8 月 30 日 話し合いの集約（ノミナルグループプロセス：NGP）
- 第 3 回 11 月 19 日 エンジン Gp で扱う事項の検討
- 第 4 回 12 月 6 日 エンジン Gp で扱う事項の検討
- 第 5 回 1 月 19 日 エンジン Gp で扱う事項の検討

#### ・ワーキングでの検討事項と理事会への提案事項

第 1・2 回のワーキングで話し合った事項を整理し、既存委員会での検討が望ましい以下の事項について、第 3 回理事会（10 月）で共有した。

- 1) 会員獲得に向けた PR 活動 ⇒ 広報委員会
- 2) 参加しやすい研修会 ⇒ 研修委員会
- 3) 現場の実践家が魅力を感じる企画作り、学術集会づくり ⇒ 学術集会
- 4) 若手研究者向けのサービスの充実 ⇒ 編集委員会

また、以下の事項については、本ワーキングで継続審議（3～5 回）した。

- 5) 学会入会のハードルを下げる
- 6) 現場が参加し活躍しやすい委員会の創設（実践促進委員会）
- 7) ケアの継続という理念を提唱する（前面に出す）
- 8) 現場の実践家が魅力を感じる企画作り、学術集会づくり ⇒ 学術集会
- 9) 若手研究者向けのサービスの充実（イベントなど）
- 10) 他学会とのコラボ企画
- 11) 学術団体としての社会への貢献の在り方

以上、ワーキングの結果として、以下の提案事項を第 5 回理事会で審議し、承認された。

#### 審議・提案

1. 2022 年度に、学生会員・ユースプログラム制度を検討する専門プロジェクトを作る。
2. 現場参加型の学会を作るための組織（実践促進委員会等）や仕組みを検討する臨時委員会を 2022 年度に起こす。
3. 他学会とのコラボレーションについては、学術集会で見せていくことが最も見えやすい。2023 年度に理事会企画 2 本（学術的、コラボ企画）を実施する。また、コラボの目的、意義と明確にして、理事会としてコラボ企画を持つことを提案する。学術集会担当理事を置いて、学術集会と理事会をつなぐという形をとる（理事会での対応）。

#### 3. 2022 年度活動計画（案）

- 1) 実践促進委員会を設置する。
- 2) 学生会員・ユースプログラム制度については総務・理事会で具体案を検討する。
- 3) 他学会とのコラボレーションについては、総務・理事会で具体案を検討する。

## 次世代研究活動推進チーム

### 1. 委員構成

|     |    |                    |
|-----|----|--------------------|
| 委員長 | 田高 | 悦子（北海道大学大学院）       |
| 委員  | 石丸 | 美奈（千葉大学大学院）        |
|     | 大森 | 純子（東北大学大学院）        |
|     | 蔭山 | 正子（大阪大学大学院高等共創研究院） |
|     | 永田 | 智子（慶應義塾大学）         |

### 2. 2021 年度活動報告

- 1) 第1回 WG：2021年7月27日（火）18:00～20:00  
事業目的、対象、方法、タイムスケジュール等の立案計画
- 2) 第2回 WG：2021年10月1日～2022年2月
  - ・全理事に対するインタビューの実施、分析（10月30日、10月31日）
  - ・自他薦の代議員に対するインタビューの実施、分析（12月7日）
  - ・自他薦の代議員以外の学会員に対するグループインタビューの実施、分析（12月10日）
  - ・理事長・監事に対するインタビューの実施、分析（1月26日、2月4日、2月7日）
- 3) 第3回 WG：2021年11月2日（火）18:00～20:00  
「地域看護学」再定義（日本地域看護学会，2019）に基づく“2040 リサーチアジェンダ” 骨子（案）および同戦略（案）の検討
- 4) 第4回 WG：2022年1月13日（木）9:00～10:30  
同上
- 5) 第5回 WG：2022年2月15日（火）15:00～16:00  
同上
- 6) 第6回 WG：2022年2月22日～3月11日  
「地域看護学」再定義（日本地域看護学会，2019）に基づく“2040 リサーチアジェンダ” 骨子（案）および同戦略の柱（案）に対する会員を対象としたパブリックコメントの実施（代議員）
- 7) 第7回 WG：2022年3月16日（水）9:00～10:30  
同上
- 8) 第8回 WG：2022年3月24日～4月14日  
「地域看護学」再定義（日本地域看護学会，2019）に基づく“2040 リサーチアジェンダ” 骨子（案）および同戦略の柱（案）に対する会員を対象としたパブリックコメントの実施（学会員）
- 9) 第9回 WG：2022年4月18日（月）13:00～15:00  
「地域看護学」再定義（日本地域看護学会，2019）に基づく“2040 リサーチアジェンダ” 骨子（修正案）および同戦略の柱（修正案）の完成
- 10) 理事会報告：2022年5月15日（日）  
「地域看護学」再定義（日本地域看護学会，2019）に基づく、
  - ・“2040 リサーチアジェンダ 24”
  - ・“2040 リサーチアジェンダ 24 の達成に向けた戦略の柱”

3. 2022 年度活動計画（案）

- 1) 「地域看護学」再定義（日本地域看護学会，2019）に基づく“2040 リサーチアジェンダ 24”および“同戦略の柱”を担う次世代育成の推進事業（次世代育成推進委員会（仮称）の設置等）
  
- 2) 「地域看護学」再定義（日本地域看護学会，2019）に基づく“2040 リサーチアジェンダ 24”および“同戦略の柱”における普及啓発事業（各種委員会との連携事業、第 25 回学術集会ワークショップ開催等）

「地域看護学定義に基づく 2040 リサーチアジェンダ 24」  
 「2040 リサーチアジェンダ 24 の達成にむけた戦略の柱」

1) 事業背景と目的

地域看護学の再定義（表 1）に際して踏まえた 2040 年の日本の社会については、超少子高齢社会とともに人口減少社会とされ、その影響は、産業、経済、教育、社会保障、人々の価値観等、あらゆる側面で言及され、“ジャパンシンドローム”とも称されている。日本地域看護学会では、地域看護学の再定義（2019）に基づき地域看護学を一層発展させ、2040 年の日本はもとより、世界の人々の健康と環境の変化を予測し、かつ適切に対応するため、重点的に取り組むべきリサーチアジェンダおよび同アジェンダの達成に向けた戦略を明確にする必要がある。

2) 事業成果

(1) 日本地域看護学会定義に基づく 2040 リサーチアジェンダ 24

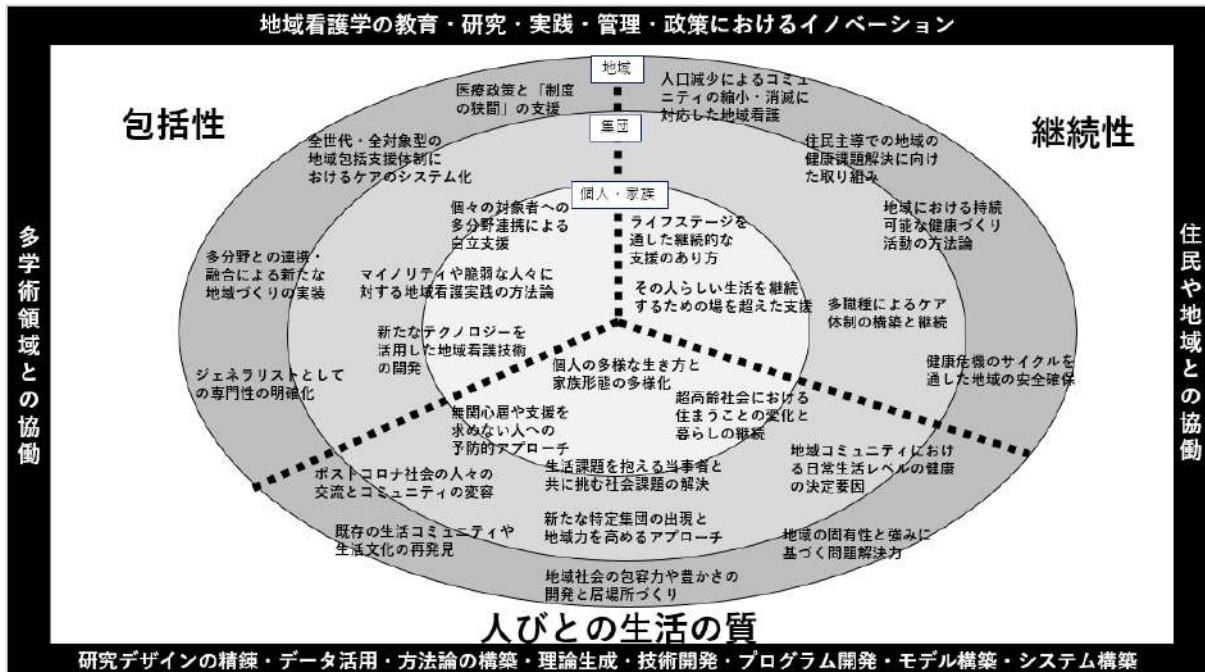


図 1：日本地域看護学会定義に基づく 2040 リサーチアジェンダ 24

図 1 は、リサーチアジェンダ 24 と四辺から構成されている。リサーチアジェンダ 24 は、地域看護学の再定義（2019）に包含された、①人々の生活の質、②包括性、③継続性の観点から、重点的に取り組むべきリサーチアジェンダ 24 テーマを抽出し、地域看護学の対象である個人、家族、集団、地域を考慮し、配置したものである。なお、地域看護学の定義と①～③の観点については、今後も継続的に探究されることを前提にしている。上辺の「地域看護学の教育・研究・実践・管理・政策におけるイノベーション」は、本アジェンダが目指す目標であり、下辺の「研究デザインの精練・データ活用・方法論の構築・理論生成・技術開発・プログラム開発・モデル構築・システム構築」は、本アジェンダに用いる主な手法である。また地域看護学および地域看護実践が、専門・非専門を問わず、また領域や分野を越えて、さまざまな人々との連携や協働（パートナーシップ）を重視していることを踏まえ、主なパートナーとして、右辺に「住民や地域との協働」を、また左辺に「多学術領域との協働」を掲げた。

## (2) 2040 リサーチアジェンダ 24 の達成にむけた戦略の柱

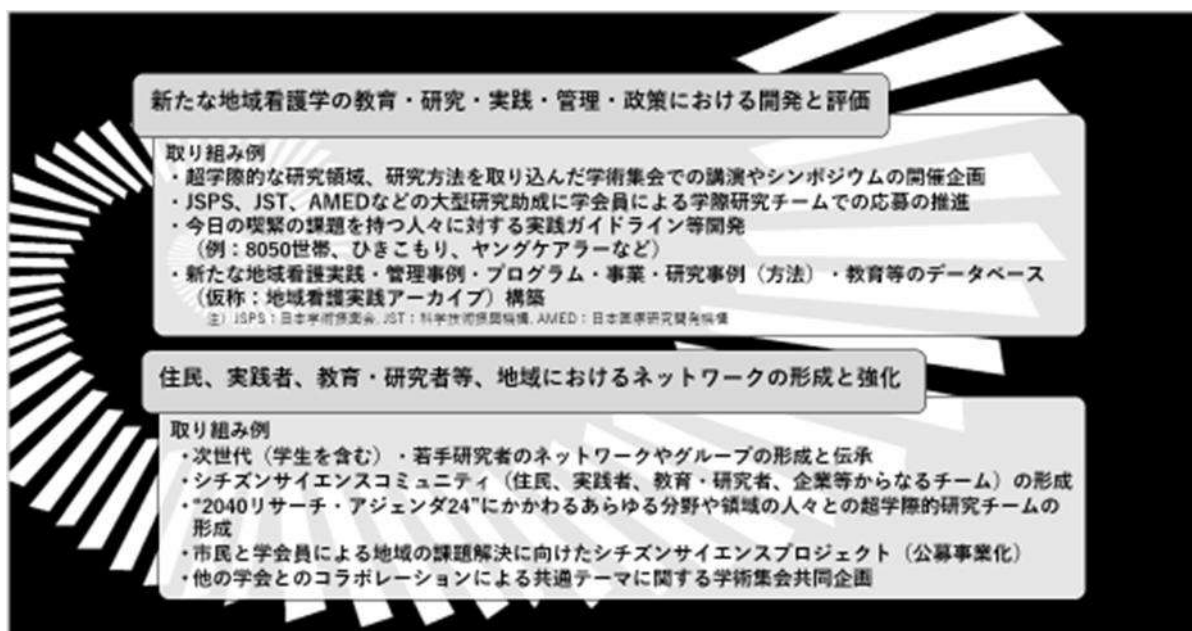


図 2：2040 リサーチアジェンダ 24 の達成にむけた戦略の柱

図 2 は、“2040 リサーチアジェンダ 24”の達成に向けた戦略の二大柱を示したものである。一つの柱は、「新たな地域看護学の教育・研究・実践・管理・政策における開発と評価」であり、もう一つの柱は、「住民、実践者、教育・研究者等、地域におけるネットワークの形成と強化」である。また各柱のもとに、具体的に想定しうるさまざまな取り組みや事業の例も提示した。例えば、前者には、未だ十分な方策が確立していない喫緊の課題を有する地域の人々や今後出現する新たな対象集団に対する新たな地域看護学の開発と評価にかかる取り組み等を含め、後者には、2040 のアジェンダを担う次世代の人材育成にかかる取り組み等を含めた。本図のデザインは、両戦略の柱が相互に関連し、循環しつつ、地域看護学の実装にむけて発展することをイメージしている。なお、ここでは示していないが、本戦略は、本学会が依拠すべき倫理上の基本原則と理念を定めた「日本地域看護学会倫理綱領」の遵守を前提にしたものであり、本学会の趣旨である人々の健康と福祉に寄与し、また広く社会に還元するよう一層努めるものである。

### 【参考】 表 1：日本地域看護学会定義（2019）

一般社団法人日本地域看護学会では、「地域看護学」を保健師、助産師、看護師の看護職に共通して求められる知識や能力を培う、基盤となる学問として位置づけ、以下のように定義する。

- ・地域看護学は、人々の生活の質の向上とそれを支える健康で安全な地域社会の構築に寄与することを探求する学問である。
- ・地域看護は、人々の健康と安全を支援することによって、人々の生活の継続性を保障し、生活の質の向上に寄与することを目的とする。
- ・地域看護学は、多様な場で生活する、様々な健康レベルにある人々を対象とし、その生活を継続的・包括的にとらえ、人々やコミュニティと協働しながら効果的な看護を探究する実践科学である。

## 貸 借 対 照 表

令和 4 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人日本地域看護学会

事業名：事業全体

(単位：円)

| 科 目                 | 当 年 度      | 前 年 度      | 増 減         |
|---------------------|------------|------------|-------------|
| <b>I 資産の部</b>       |            |            |             |
| <b>流動資産</b>         |            |            |             |
| 現金預金                | 30,465,760 | 7,952,851  | 22,512,909  |
| 普通預金 (事務センター)       | 24,144,541 | 4,133,960  | 20,010,581  |
| 郵便振替 (年会費等)         | 3,044,602  | 1,109,670  | 1,934,932   |
| 普通預金 (研究セミナー)       | 0          | 237,099    | △237,099    |
| 普通預金 (第24回学術集会運転資金) | 0          | 1,769,564  | △1,769,564  |
| 普通預金 (第25回学術集会運転資金) | 2,138,163  | 0          | 2,138,163   |
| 普通預金 (第25回学術集会参加費)  | 435,890    | 0          | 435,890     |
| 普通預金 (将来事業準備資金)     | 702,564    | 702,558    | 6           |
| 未収金                 | 0          | 14,233,544 | △14,233,544 |
| 前払金 (第24回学術集会運転資金)  | 0          | 30,440     | △30,440     |
| 前払金 (第25回学術集会運転資金)  | 1,294,518  | 1,239,680  | 54,838      |
| <b>流動資産合計</b>       | 31,760,278 | 23,456,515 | 8,303,763   |
| <b>資産合計</b>         | 31,760,278 | 23,456,515 | 8,303,763   |
| <b>II 負債の部</b>      |            |            |             |
| <b>流動負債</b>         |            |            |             |
| 未払金                 | 0          | 68,400     | △68,400     |
| 前受金 (年会費等)          | 3,044,602  | 1,109,670  | 1,934,932   |
| 前受金 (第24回学術集会運転資金)  | 0          | 800,004    | △800,004    |
| 前受金 (第25回学術集会運転資金)  | 1,625,891  | 0          | 1,625,891   |
| <b>流動負債合計</b>       | 4,670,493  | 1,978,074  | 2,692,419   |
| <b>負債合計</b>         | 4,670,493  | 1,978,074  | 2,692,419   |
| <b>III 正味財産の部</b>   |            |            |             |
| 一般正味財産              | 27,089,785 | 21,478,441 | 5,611,344   |
| <b>正味財産合計</b>       | 27,089,785 | 21,478,441 | 5,611,344   |
| <b>負債及び正味財産合計</b>   | 31,760,278 | 23,456,515 | 8,303,763   |



# 一般社団法人日本地域看護学会 2021年度収支計算書（案）

自 2021年 4月 1日  
至 2022年 3月 31日

## I. 一般会計

### 1. 収入

(単位:円)

| 項目           | 2021年度<br>予算 | 2021年度<br>決算 | 差 異<br>(収入減 △) | 備 考  |
|--------------|--------------|--------------|----------------|--|
| 1 年会費        | 13,800,000   | 13,950,000   | 150,000        | 10,000円×1,395件<br>2021年度分:1,345/1,436人(入金率93.7%)<br>過年度分:50件 |
| 2 入会金        | 500,000      | 500,000      | 0              | 5,000円×100人  |
| 3 寄付金        | 0            | 0            | 0              |  |
| 4 第24回学術集会   | 8,000,000    | 8,428,511    | 428,511        | 勇美記念財団からの助成金800,000円を含む                                      |
| 5 委員会セミナー参加費 | 300,000      | 263,000      | △ 37,000       | 研究活動推進委員会セミナー参加費   |
| 6 投稿料        | 200,000      | 130,000      | △ 70,000       | 5,000円×26件   |
| 7 将来事業準備資金取崩 | 0            | 0            | 0              |  |
| 8 雑収入        | 10,100       | 14,447       | 4,347          |  |
| (1) 利息       | 100          | 157          | 57             |  |
| (2) 著作権使用料   | 10,000       | 11,220       | 1,220          | 医学中央雑誌刊行会より  |
| (3) その他      | 0            | 3,070        | 3,070          | 雑誌売上:2,870円、抄録コピーサービス代:200円                                  |
| (A) 当期収入合計   | 22,810,100   | 23,285,958   | 475,858        |  |
| 前期繰越金        | 20,775,883   | 20,775,883   | 0              |  |
| (B) 合計       | 43,585,983   | 44,061,841   | 475,858        |  |

### 2. 支出

(単位:円)

| 項目                   | 2021年度<br>予算 | 2021年度<br>決算 | 差 異<br>(支出増 △) | 備 考  |
|----------------------|--------------|--------------|----------------|--|
| <b>事業費支出</b>         |              |              |                |  |
| 1 第24回学術集会           | 9,000,000    | 9,063,285    | △ 63,285       |  |
| 2 理事会セミナー            | 50,000       | 48,894       | 1,106          | 講師謝金:22,274円、開催サポート費:26,620円                   |
| 3 会員報告会              | 50,000       | 60,500       | △ 10,500       | 開催サポート費  |
| 4 研究論文表彰費            | 150,000      | 139,995      | 10,005         | 論文賞副賞:110,000円、賞状等:29,995円                     |
| 5 学会誌                | 4,050,000    | 3,167,450    | 882,550        |  |
| (1) 製作費              | 3,900,000    | 3,088,250    | 811,750        | 第24巻第1号、第2号、第3号                                |
| (2) J-STAGE掲載作業費     | 150,000      | 79,200       | 70,800         | 掲載論文18編  |
| 6 委員会活動費             | 2,800,000    | 1,230,596    | 1,569,404      |  |
| (1) 編集委員会            | 1,000,000    | 400,953      | 599,047        | 委員会(3回)、拡大編集委員会(1回)開催等                         |
| (2) 研究活動推進委員会        | 500,000      | 509,735      | △ 9,735        | 委員会開催(3回)、委員会セミナー開催費                           |
| (3) 広報委員会            | 300,000      | 154,008      | 145,992        | 委員会開催(3回)、委員会調査実施費用                            |
| (4) 教育委員会            | 500,000      | 0            | 500,000        | 委員会開催(5回)                                      |
| (5) 国際交流推進委員会        | 200,000      | 165,900      | 34,100         | 委員会開催(1回)、NL No.21作成費・執筆料                      |
| (6) 表彰論文選考委員会        | 100,000      | 0            | 100,000        | 委員会開催(1回)                                      |
| (7) 災害支援のあり方検討委員会    | 200,000      | 0            | 200,000        | 委員会開催(2回)、ワークショップ開催費                           |
| 7 選挙運営費              | 0            | 0            | 0              |  |
| 8 諸会費                | 100,000      | 100,000      | 0              |  |
| (1) 日本看護系学会協議会       | 80,000       | 80,000       | 0              | 2021年度会費                                       |
| (2) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会 | 20,000       | 20,000       | 0              | 2021年度会費                                       |
| 9 雑費                 | 50,000       | 42,372       | 7,628          | 会員報告会用Zoom背景作成費:11,000円、<br>次世代研究WG活動費:31,372円 |
| 事業費小計                | 16,250,000   | 13,853,092   | 2,396,908      |  |

| 項目            | 2021年度<br>予 算     | 2021年度<br>決 算     | 差 異<br>(支出増 △)     | 備 考   |
|---------------|-------------------|-------------------|--------------------|---|
| <b>管理費支出</b>  |                   |                   |                    |   |
| 1 会議費         | <b>250,000</b>    | <b>77,110</b>     | <b>172,890</b>     |   |
| (1) 理事会       | 200,000           | 66,110            | 133,890            | 理事会(4回)、監査(2回)、Web会議費用を含む<br>社員総会(1回)         |
| (2) 社員総会      | 50,000            | 11,000            | 39,000             |   |
| 2 交通・宿泊費      | <b>400,000</b>    | <b>0</b>          | <b>400,000</b>     |   |
| 3 印刷費         | <b>400,000</b>    | <b>266,581</b>    | <b>133,419</b>     | 会議資料・封筒・年会費請求書等印刷費                            |
| 4 発送費         | <b>400,000</b>    | <b>269,339</b>    | <b>130,661</b>     | 年会費請求書・入会通知等発送費                               |
| 5 ホームページ管理費   | <b>400,000</b>    | <b>396,000</b>    | <b>4,000</b>       |   |
| 6 業務委託費       | <b>2,900,000</b>  | <b>2,651,880</b>  | <b>248,120</b>     |   |
| 7 租税公課        | <b>70,000</b>     | <b>70,000</b>     | <b>0</b>           | 法人税   |
| 8 雑費          | <b>120,000</b>    | <b>90,618</b>     | <b>29,382</b>      |   |
| (1) 振込手数料     | 40,000            | 33,110            | 6,890              | 振込手数料:6,490円、振替通知書発行手数料:26,620円<br>登記変更費等、弔電代 |
| (2) その他       | 80,000            | 57,508            | 22,492             |   |
| 管理費小計         | <b>4,940,000</b>  | <b>3,821,528</b>  | <b>1,118,472</b>   |   |
| <b>資産積立支出</b> |                   |                   |                    |   |
| 1 将来事業準備資金積立金 | <b>0</b>          | <b>0</b>          | <b>0</b>           |   |
| 資産積立支出小計      | <b>0</b>          | <b>0</b>          | <b>0</b>           |   |
| (C) 当期支出合計    | <b>21,190,000</b> | <b>17,674,620</b> | <b>3,515,380</b>   |   |
| (A-C) 当期収支差額  | <b>1,620,100</b>  | <b>5,611,338</b>  | <b>△ 3,991,238</b> |   |
| (B-C) 次期繰越金   | <b>22,395,983</b> | <b>26,387,221</b> | <b>△ 3,991,238</b> |   |

## Ⅱ. 積立金

### 将来事業準備資金

(単位:円)

| 収 入   |                | 支 出   |                | 備 考 |
|-------|----------------|-------|----------------|-----|
| 前期繰越金 | <b>702,558</b> | 取崩    | <b>0</b>       |     |
| 繰入    | <b>0</b>       | 次期繰越金 | <b>702,564</b> |     |
| 受取利息  | <b>6</b>       |       |                |     |
| 収入合計  | <b>702,564</b> | 支出合計  | <b>702,564</b> |     |

## 財 産 目 録

令和 4 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人日本地域看護学会

事業名：事業全体

(単位：円)

| 貸借対照表科目            | 場所・物量等  | 使用目的等             | 金額         |
|--------------------|---------|-------------------|------------|
| (流動資産)             |         |                   |            |
| 普通預金(事務センター)       | 三菱UFJ銀行 | 一般会計/学会運転資金       | 24,144,541 |
| 郵便振替(年会費等)         | ゆうちょ銀行  | 一般会計/翌事業年度計上年会費等  | 3,044,602  |
| 普通預金(第25回学術集会運転資金) | ゆうちょ銀行  | 一般会計/第25回学術集会運転資金 | 2,138,163  |
| 普通預金(第25回学術集会参加費)  | ゆうちょ銀行  | 一般会計/第25回学術集会参加費  | 435,890    |
| 普通預金(将来事業準備資金)     | 三菱UFJ銀行 | 積立金/将来事業準備資金      | 702,564    |
| 前払金(第25回学術集会運転資金)  | 三菱UFJ銀行 | 一般会計/第25回学術集会场費等  | 1,294,518  |
| 流動資産合計             |         |                   | 31,760,278 |
| 資産合計               |         |                   | 31,760,278 |
| (流動負債)             |         |                   |            |
| 前受金(年会費等)          | ゆうちょ銀行  | 一般会計/翌事業年度計上年会費等  | 3,044,602  |
| 前受金(第25回学術集会運転資金)  | 三菱UFJ銀行 | 一般会計/第25回学術集会運転資金 | 1,190,001  |
| 前受金(第25回学術集会運転資金)  | ゆうちょ銀行  | 一般会計/第25回学術集会運転資金 | 435,890    |
| 流動負債合計             |         |                   | 4,670,493  |
| 負債合計               |         |                   | 4,670,493  |
| 正味財産               |         |                   | 27,089,785 |

# 監査報告書

2022年 5月 18日

一般社団法人日本地域看護学会  
理事長 宮崎 美砂子 殿

一般社団法人日本地域看護学会

監事 佐伯 和子



私監事は、一般社団法人日本地域看護学会の2021年4月1日から2022年3月31日までの2021年度における業務及び会計の監査を行い、次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法の概要

- (1) 業務監査については、理事会その他の重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを実施することによって業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 会計監査については、会計帳票及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表及び収支計算書の正確性を検討した。
- (3) 監査は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策のため、web会議により実施した。監事1人ずつが署名・捺印した監査報告書を2枚作成した。

## 2. 監査結果

### (1) 業務等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、一般社団法人日本地域看護学会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に示しているものと認めます。

# 監査報告書

2022年 5月 19日

一般社団法人日本地域看護学会  
理事長 宮崎 美砂子 殿

一般社団法人日本地域看護学会

監事 村嶋 幸代 

私監事は、一般社団法人日本地域看護学会の2021年4月1日から2022年3月31日までの2021年度における業務及び会計の監査を行い、次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法の概要

- (1) 業務監査については、理事会その他の重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続きを実施することによって業務執行の妥当性を検討した。
- (2) 会計監査については、会計帳票及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表及び収支計算書の正確性を検討した。
- (3) 監査は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策のため、web会議により実施した。監事1人ずつが署名・捺印した監査報告書を2枚作成した。

## 2. 監査結果

### (1) 業務等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、一般社団法人日本地域看護学会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に示しているものと認めます。

## 一般社団法人日本地域看護学会 2022年度事業計画書(案)

1. 理事会を4回以上および監査会議を1回以上開催する。
2. 社員総会を1回開催する。
3. 会員報告会を1回開催する。
4. 第25回学術集会を開催する。
5. 第25回学術集会時に理事会セミナーを実施する。
6. 日本地域看護学会誌第25巻第1号、第2号、第3号を電子体で発行する。
7. 地域看護学に関する研究活動を推進する。
8. 地域看護学に関する広報活動を強化する。
9. 地域看護学に関する教育のあり方について検討する。
10. 地域看護学に関する国際的な交流を行い、News Letterを年1回発行する。
11. 日本地域看護学会表彰制度を運営する。
12. 災害に対する支援のあり方を検討する。
13. 地域看護学における実践活動の促進について検討する。
14. 地域看護学における次世代育成の推進について検討する。
15. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め、活動に参画する。
16. 代議員・役員選挙を行う。
17. その他必要な事業を行う。

## 一般社団法人日本地域看護学会 2023年度事業計画書(案)

1. 理事会を4回以上および監査会議を1回以上開催する。
2. 社員総会を1回開催する。
3. 会員報告会を1回開催する。
4. 第26回学術集会を開催する。
5. 第26回学術集会時に理事会セミナーを実施する。
6. 日本地域看護学会誌第26巻第1号、第2号、第3号を電子体で発行する。
7. 地域看護学に関する研究活動を推進する。
8. 地域看護学に関する広報活動を強化する。
9. 地域看護学に関する教育のあり方について検討する。
10. 地域看護学に関する国際的な交流を行い、News Letterを年1回発行する。
11. 日本地域看護学会表彰制度を運営する。
12. 災害に対する支援のあり方を検討する。
13. 地域看護学における実践活動の促進について検討する。
14. 地域看護学における次世代育成の推進について検討する。
15. 看護系学会・公衆衛生関連学協会との連携を進め、活動に参画する。
16. その他必要な事業を行う。

## 一般社団法人日本地域看護学会 2022年度収支予算書(案)

自 2022年 4月 01日  
至 2023年 3月 31日

### I. 一般会計

#### 1. 収入

(単位:円)

| 項目           | 2022年度<br>予算 | 2021年度<br>予算 | 2021年度<br>決算 | 備考                             |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------------------------|
| 1 年会費        | 13,800,000   | 13,800,000   | 13,950,000   | 10,000円×1,380/1,470人(入金率94%程度) |
| 2 入会金        | 500,000      | 500,000      | 500,000      | 5,000円×100人                    |
| 3 寄付金        | 0            | 0            | 0            |                                |
| 4 第25回学術集会   | 10,730,000   | 8,000,000    | 8,428,511    |                                |
| 5 委員会セミナー参加費 | 500,000      | 300,000      | 263,000      | 研究活動推進委員会セミナー参加費               |
| 6 投稿料        | 200,000      | 200,000      | 130,000      | 5,000円×40件                     |
| 7 将来事業準備資金取崩 | 0            | 0            | 0            |                                |
| 8 雑収入        | 10,100       | 10,100       | 14,447       |                                |
| (1) 利息       | 100          | 100          | 157          |                                |
| (2) 著作権使用料   | 10,000       | 10,000       | 11,220       | 医学中央雑誌刊行会                      |
| (3) その他      | 0            | 0            | 3,070        |                                |
| (A) 当期収入合計   | 25,740,100   | 22,810,100   | 23,285,958   |                                |
| 前期繰越金        | 26,387,221   | 20,775,883   | 20,775,883   |                                |
| (B) 合計       | 52,127,321   | 43,585,983   | 44,061,841   |                                |

#### 2. 支出

(単位:円)

| 項目                   | 2022年度<br>予算 | 2021年度<br>予算 | 2021年度<br>決算 | 備考                         |
|----------------------|--------------|--------------|--------------|----------------------------|
| <b>事業費支出</b>         |              |              |              |                            |
| 1 第25回学術集会           | 11,730,000   | 9,000,000    | 9,063,285    |                            |
| 2 理事会セミナー            | 50,000       | 50,000       | 48,894       |                            |
| 3 会員報告会              | 50,000       | 50,000       | 60,500       |                            |
| 4 研究論文表彰費            | 150,000      | 150,000      | 139,995      | 論文賞副賞:110,000円、その他:40,000円 |
| 5 学会誌                | 4,050,000    | 4,050,000    | 3,167,450    | 第25巻第1号、第2号、第3号            |
| (1) 製作費              | 3,900,000    | 3,900,000    | 3,088,250    |                            |
| (2) J-STAGE掲載作業費     | 150,000      | 150,000      | 79,200       |                            |
| 6 委員会活動費             | 2,770,000    | 2,800,000    | 1,230,596    |                            |
| (1) 編集委員会            | 1,000,000    | 1,000,000    | 400,953      | 拡大編集委員会開催費(1回)を含む          |
| (2) 研究活動推進委員会        | 670,000      | 500,000      | 509,735      | セミナー開催費(1回)を含む             |
| (3) 広報委員会            | 200,000      | 300,000      | 154,008      |                            |
| (4) 教育委員会            | 200,000      | 500,000      | 0            |                            |
| (5) 国際交流推進委員会        | 200,000      | 200,000      | 165,900      | NL No.22作成費を含む             |
| (6) 表彰論文選考委員会        | 100,000      | 100,000      | 0            |                            |
| (7) 災害支援のあり方検討委員会    | 200,000      | 200,000      | 0            |                            |
| (8) 実践促進委員会          | 100,000      | 0            | 0            |                            |
| (9) 次世代育成推進委員会       | 100,000      | 0            | 0            |                            |
| 7 選挙運営費              | 650,000      | 0            | 0            |                            |
| (1) 選挙管理等受付管理費       | 220,000      | 0            | 0            |                            |
| (2) 代議員選挙運営費         | 350,000      | 0            | 0            |                            |
| (3) 役員選挙運営費          | 50,000       | 0            | 0            |                            |
| (4) 選挙管理委員会会議費       | 30,000       | 0            | 0            |                            |
| 8 諸会費                | 100,000      | 100,000      | 100,000      |                            |
| (1) 日本看護学会協議会        | 80,000       | 80,000       | 80,000       |                            |
| (2) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会 | 20,000       | 20,000       | 20,000       |                            |
| 9 雑費                 | 1,350,000    | 50,000       | 42,372       | 動画配信プラットフォーム構築費を含む         |
| 事業費小計                | 20,900,000   | 16,250,000   | 13,853,092   |                            |



| 項目            | 2022年度<br>予 算     | 2021年度<br>予 算     | 2021年度<br>決 算     | 備 考              |
|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|
| <b>管理費支出</b>  |                   |                   |                   |                  |
| 1 会議費         | <b>250,000</b>    | <b>250,000</b>    | <b>77,110</b>     |                  |
| (1) 理事会       | 200,000           | 200,000           | 66,110            | 監査会議費・Web会議費用を含む |
| (2) 社員総会      | 50,000            | 50,000            | 11,000            | Web会議費用を含む       |
| 2 交通・宿泊費      | <b>400,000</b>    | <b>400,000</b>    | <b>0</b>          |                  |
| 3 印刷費         | <b>400,000</b>    | <b>400,000</b>    | <b>266,581</b>    | 封筒・請求書作成費等       |
| 4 発送費         | <b>400,000</b>    | <b>400,000</b>    | <b>269,339</b>    | 年会費請求書等          |
| 5 ホームページ管理費   | <b>400,000</b>    | <b>400,000</b>    | <b>396,000</b>    |                  |
| 6 業務委託費       | <b>3,500,000</b>  | <b>2,900,000</b>  | <b>2,651,880</b>  |                  |
| 7 租税公課        | <b>70,000</b>     | <b>70,000</b>     | <b>70,000</b>     | 法人税              |
| 8 雑費          | <b>120,000</b>    | <b>120,000</b>    | <b>90,618</b>     |                  |
| (1) 振込手数料     | 40,000            | 40,000            | 33,110            | 振込手数料・振替通知書発行手数料 |
| (2) その他       | 80,000            | 80,000            | 57,508            | 登記変更費等           |
| 管理費小計         | <b>5,540,000</b>  | <b>4,940,000</b>  | <b>3,821,528</b>  |                  |
| <b>資産積立支出</b> |                   |                   |                   |                  |
| 1 将来事業準備資金積立金 | <b>0</b>          | <b>0</b>          | <b>0</b>          |                  |
| 資産積立支出小計      | <b>0</b>          | <b>0</b>          | <b>0</b>          |                  |
| (C) 当期支出合計    | <b>26,440,000</b> | <b>21,190,000</b> | <b>17,674,620</b> |                  |
| (A-C) 当期収支差額  | <b>△ 699,900</b>  | <b>1,620,100</b>  | <b>5,611,338</b>  |                  |
| (B-C) 次期繰越金   | <b>25,687,321</b> | <b>22,395,983</b> | <b>26,387,221</b> |                  |

## Ⅱ. 積立金

### 将来事業準備資金

(単位:円)

| 収 入    |                | 支 出    |                | 備 考 |
|--------|----------------|--------|----------------|-----|
| 前年度繰越金 | <b>702,564</b> | 取崩     | <b>0</b>       |     |
| 繰入     | <b>0</b>       | 次年度繰越金 | <b>702,564</b> |     |
| 受取利息   | <b>0</b>       |        |                |     |
| 収入合計   | <b>702,564</b> | 支出合計   | <b>702,564</b> |     |

一般社団法人日本地域看護学会 名誉会員候補者一覧

| No. | 氏 名   | 所 属       |
|-----|-------|-----------|
| 1   | 早川 和生 | 元三重県立看護大学 |

## 一般社団法人日本地域看護学会 2021～2022 年度役員名簿

### 理事長

宮崎 美砂子 (千葉大学大学院)

### 副理事長

荒木田美香子 (川崎市立看護短期大学)

田高 悦子 (北海道大学大学院)

### 理事

秋山 正子 (㈱ケアーズ白十字訪問看護ステーション) 岸 恵美子 (東邦大学大学院)

石橋 みゆき (千葉大学大学院)

北山 三津子 (岐阜県立看護大学)

石丸 美奈 (千葉大学大学院)

小西 かおる (大阪大学大学院)

大木 幸子 (杏林大学)

田村 須賀子 (富山大学)

大森 純子 (東北大学大学院)

永田 智子 (慶應義塾大学)

蔭山 正子 (大阪大学高等共創研究院)

春山 早苗 (自治医科大学)

### 監事

佐伯 和子 (富山県立大学)

村嶋 幸代 (大分県立看護科学大学)

一般社団法人日本地域看護学会 2019~2022 年度社員名簿

代 議 員

|                            |                           |
|----------------------------|---------------------------|
| 秋山 正子 (㈱ケアーズ白十字訪問看護ステーション) | 北山 三津子 (岐阜県立看護大学)         |
| 麻原 きよみ (聖路加国際大学)           | 河野 あゆみ (大阪公立大学大学院在宅看護学領域) |
| 荒木田美香子 (川崎市立看護短期大学)        | 小西 かおる (大阪大学大学院)          |
| 有本 梓 (横浜市立大学大学院)           | 斉藤 恵美子 (東京都立大学大学院)        |
| 安齋 由貴子 (宮城大学)              | 佐伯 和子 (富山県立大学)            |
| 石垣 和子 (石川県立看護大学)           | 佐藤 紀子 (千葉県立保健医療大学)        |
| 石田 千絵 (日本赤十字看護大学)          | 佐藤 由美 (群馬大学大学院)           |
| 石橋 みゆき (千葉大学大学院)           | 田高 悦子 (北海道大学大学院)          |
| 石原 多佳子 (岐阜聖徳学園大学)          | 巽 あさみ (人間環境大学大学院)         |
| 石丸 美奈 (千葉大学大学院)            | 田中 美延里 (愛媛県立医療技術大学)       |
| 和泉 京子 (武庫川女子大学)            | 田村 須賀子 (富山大学)             |
| 和泉 比佐子 (神戸大学大学院)           | 都筑 千景 (大阪公立大学大学院)         |
| 井手 知恵子 (大分大学)              | 永田 智子 (慶應義塾大学)            |
| 岩本 里織 (神戸市看護大学)            | 西嶋 真理子 (愛媛大学大学院)          |
| 上野 昌江 (関西医科大学)             | 鳩野 洋子 (九州大学大学院)           |
| 上野 まり (自治医科大学)             | 春山 早苗 (自治医科大学)            |
| 大木 幸子 (杏林大学)               | 平澤 則子 (長岡崇徳大学)            |
| 大澤 真奈美 (群馬県立県民健康科学大学)      | 平野 かよ子 (宮崎県立看護大学)         |
| 大西 美智恵 (元香川大学瀬戸内圏研究センター)   | 平野 美千代 (北海道大学大学院)         |
| 大森 純子 (東北大学大学院)            | 松尾 和枝 (福岡女学院看護大学)         |
| 尾形 由起子 (福岡県立大学)            | 松下 光子 (岐阜県立看護大学)          |
| 岡本 玲子 (大阪大学大学院)            | 松田 宣子 (関西国際大学)            |
| 奥野 ひろみ (信州大学)              | 宮崎 美砂子 (千葉大学大学院)          |
| 表 志津子 (金沢大学)               | 村嶋 幸代 (大分県立看護科学大学)        |
| 蔭山 正子 (大阪大学高等共創研究院)        | 森 仁実 (岐阜県立看護大学)           |
| 門間 晶子 (名古屋市立大学)            | 守田 孝恵 (獨協医科大学)            |
| 金子 仁子 (東京情報大学)             | 安田 貴恵子 (長野県看護大学)          |
| 亀井 智子 (聖路加国際大学大学院)         | 矢庭 さゆり (新見公立大学)           |
| 川崎 涼子 (長崎大学)               | 山崎 洋子 (健康科学大学)            |
| 岸 恵美子 (東邦大学大学院)            | 吉田 礼維子 (天使大学)             |
| 北岡 英子 (湘南鎌倉医療大学)           | 両羽 美穂子 (上智大学)             |